



令和7年
(2025年)
5月号
Vol.65

もちのき



(社会福祉法人愛の森広報紙)

[発行]社会福祉法人愛の森(厚木市森の里青山 14-2(Tel:046(248)5211)) [編集発行責任者] 國分 隆之

困ったときは、声をあげよう！(遠慮は厳禁😊)

先月号で、恐縮ながら私事を記載したところ、内外の読者各位より、いつもより多くのご連絡・ご感想・激励をいただきました。ありがとうございました。二週間ほどで退院できました。

入院してみて思ったのは、患者側も積極的に要望等を発信していくことの重要さです。これは、病院側の対応に問題があるということでは全くなくて、色々と当方の考え・要望や気持ちを伝えた方が、より個別性の高いサービスが受けられることを実感したからです。提供側は、病名や一般論に依じて、集積した知見に基づく最高のサービスを提供して下さるとしても、一方、患者は病状も性格も考え方も違うので、必要な声を出してもいいのかな、ということです。昨今、クレーマーだなんだというサービスを受ける側がものを言いにくい雰囲気があるとすれば、それは双方にとって不幸なことで、言い方などは気を付けつつ、自身もサービス提供に参画していく、という気持ちはあってもよいかな、と僭越ながら、思いました。

で、話が飛ぶように思われるかもしれませんが、以下、関連して2点ほど記します(筆者的にはつながっているつもり💧)。

[学園ご利用のご家族等の皆さんへ] 勿論、施設・事業者として、できることとできないことはあります。ただ、入所であれ、通所等であれ、利用者さんをお預かりし、ご縁のある関係。どんなことでも相談・要望してみてください。色々思わぬ道が見えたり、知恵がでることもあるかもしれません。また、私たちが最善と思ってやっても一寸ずれていることや、気がついていないこともあるかもしれない。そういう気持ちで謙虚に承りたいと思います。

[職員各位へ] 仕事上のことは勿論、個人のことも家庭のことも、困ったことがあれば遠慮なく相談してほしいと思います。その場合、通常の業務はいわゆる「ライン」で動いているにしても、相談ごとは、直属の上長と相談しなければならないという決まりはありませんので申し添えます。相談は、しやすい管理職等に速やかに。自分で抱えないことが重要です。

私事をきっかけにした「勝手に教訓シリーズ(笑)」、第2弾でした。教訓ばかり垂れてないで、本格的に仕事にしないと…。連休明けから、新年度開始のつもりで頑張ります。[國分 隆之]

[キックオフ!] 今年もやるぞ、農福連携！：4月25日(金)

一昨年(令和5年度)より、地域の方々や近隣企業さんとのコラボで始まった農福連携事業。冬の間、休耕していた畑は、春になると雑草が生い茂る状態に！夏野菜や秋に収穫が見込める芋類の植え付けの前に、まずは畑の除草作業を行いました。

活動が3年目となったこともあり、草取りから、作業後のお楽しみティータイムまで、利用者さんの動きは極めてスムーズ、完璧と言えるほどでした👑！

秋の収穫を目指し、次回は夏野菜の苗の植付けなどを行う予定です。 [遠藤 岳洋]

(写真は次ページをご参照下さい)



【お花見2題！】 恒例の場所で今年も「お花見」が出来る幸せをかみしめて(^^♪

学園チームは、園庭で！：4月4日(金)

冬の間中殆ど雨が降らない状態が続いておりましたが、4月の声を聞くあたりから、ぐずついた雨が続き、「いつ咲くのか」「散らないか」、と不安が募るなか、天気予報と花見予報を日々チェックし、「この日か?」「その日か?」と、やきもきしながらこの間を過ごしていた担当。

天気、気温ともちょうど良く、そして何よりも満開のタイミングでの開催となりました。ふれあい会新会長の挨拶でスタートした今年の花見。飲み物とお菓子を前に、春の日差しとそよ風を気持ちよく受けながら、今年も、園庭にて楽しむことができました。[福澤 智之]



ひだまりチームは、去年から恒例の(^^♪「鳶尾中央公園」で！：4月5日(土)

グループホームひだまりのお花見は、去年から恒例の世話人企画で、「鳶尾中央公園」にて。まずは、お弁当箱の準備。お食事に加え、世話人の握ったおにぎりを、利用者さんがラッピングケースに入れるお手伝いをし、お弁当のできあがり！

恵まれた天候のもと、徒歩5分の「鳶尾中央公園」に、お弁当をもって、いざ出発。桜の木の下にレジャーシートや簡易テーブル・イスを据え付ければ、特設花見コーナーのできあがり。「このおにぎりは、私たちがお手伝いしたんだよー」と、ちょっと誇らしげに、ほおばります。「たまには外でご飯食べるのも良いよね～。気持ち良いね」などと談笑しつつ、完食。食後は公園内の桜を見て歩いたり、ブランコで遊んだり、世話人とお話したり、まったりと。企画してくれた担当世話人に感謝しつつ、今年も無事、花見会を終えました。[花田 大輔]



【学園内研修！】**虐待防止研修の一環で「権利擁護と意思決定支援」を学ぶ：3月27日(木)**

今回は、ご自身も障害当事者(弱視)でおられる桜美林大学教授:谷内孝行先生を講師としてお招きし、権利擁護と意思決定支援についてのご講義を賜りました。

平成24年に施行されたいわゆる障害者虐待防止法に関し、制定のきっかけとなった当時の時代背景から、法や制度の内容、また、現状の施設内における虐待の実態やその推移などの要点を、わかりやすくご説明いただきました。

まず、虐待の発生要因状況を分析したり、職員個々の価値観の違いなどをきちんと認識することを通じ、各現場で日々発生し得る「不適切と思われる支援の「芽」」に対し、その段階で適切に対処する大切さを、日々の支援業務における重要ポイントとして、お話いただきました。

後半では、不適切な支援事例についてのグループワークを通じ、その原因・課題が、職員個々にあるのか、支援方法にあるのか、組織に内在する課題なのか、などを確認いたしました。

特に、身体拘束については、いわゆる「3要件」を満たしていとしてもそれですべて問題なしとなるということでは決してなく、虐待の可能性は常にあり得るということ、また、事例によってはもはや単に「虐待」といった言葉でくられるものではなく「犯罪である」と強く認識すべきことを、私たちに強くご教示いただきました。

最後に、意思決定支援との関係では、利用者さん各々の状況に応じてアプローチの異なる支援を適切に行っている事業所では虐待は起きにくく、またその取組みそのものが虐待防止に繋がる、という強いメッセージを先生からいただき、改めて利用者さんに対する適切な支援の提供と、安全な体制づくりを目指す契機となりました。[遠藤 岳洋]

**【ホリデー日課！】****「クレープ?」、「ホットケーキ?」、それは気持ちの問題!：4月26日(土)**

静かで穏やかな4月の最終土曜日の午前、恒例のホリデー日課です。ここのところ、ボードゴルフ、折り紙での桜の木づくり、ゲームなど、「食」以外の活動が続きましたが、今回は、久々に「花より団子」に戻ってのおやつ作り、クレープに挑戦しました。

おしゃれな街中で売っている「クレープ」を目指しつつも、学園備品の家庭用ホットプレートでは、薄く大きな生地を作るのにはなかなか限界が💧。「ホットケーキの薄いのでは?」などという指摘には耳を傾けることなく😅、あくまでも「クレープづくり」に邁進しました!

皆さん、かき混ぜて焼いた生地に、各々のセンスで生クリームやチョコレートソース、ベリージャムにチョコスプレッド、そしてバナナ! と、たっぷりのトッピングをほどこして、美味しくいただきました。ご自身で作ったものは、やっぱり格別! 昼食前であることを忘れ(笑)、それぞれ、楽しく美味しい時間を過ごしました。[担当:鈴木 和志、記事:武藤 佑生]



[久々の若手インタビュー!]

利用者さんに頼られる「親友」でありたい♪:島岡 佑樹さん

四月の「日誌」は、掲載スペースがなくなってしまうので、追ってエッセイにのみ掲載します。

👁️ まずは、この業界、そして、(福)愛の森を選んでくれた経緯や理由を。

👁️ この業界、ということ言えば、やはり「嫁」の影響ですね(※)。(福)愛の森を選んだのは、HP見ていて、利用者さんの日々の生活のご様子が、きめ細かくアップされていて、自分が仕事する様子を具体的に想像できたからです。「ここいいな、働いてみたいな」と思いました。

※ 奥様は他施設で働いていましたが、彼の入職後、当法人に転職。追ってご紹介の予定。

👁️ 有難うございます。HPへの記事のアップや頻度については最近力を入れているので嬉しいです。HPの内容に負けないように💦、お互い頑張らないといけませんね(〜♪)。

👁️ 利用者さんへの対応・接し方が「新人離れしている(一寸褒めすぎ(笑))」と他の職員から聞いたことがあります。貴方の人柄ということは勿論あるかと思いますが、これまで、様々な仕事を経験されてきたということもあるかと個人的には思っています。どうでしょう。

👁️ 接客、営業、介護、納品、と確かに色々なサービス業に従事した経験があります。そのなかで、お客様とのやりとりでは、いわゆる「想定外」のことも含め、色々なことがありました。利用者さんとのやり取りでも、予想外のことは日々ありますので💦、まだまだ修行中の身ではありますが、そういった経験が少しでも生きていければうれしいです。

👁️ 夜勤に早番や遅番と、シフト勤務は結構大変だと思いますが、休日、休めていますか。

👁️ はい、なるべく仕事のことは考えないように😄、リフレッシュするようにしています。映画を見たり、ゲームをしたり、という感じかな。

👁️ 最後に、こんな支援員になりたい、とかのイメージがあれば?

👁️ なかなか明確なものはまだ見えませんが、利用者さんに頼られる、そして親しみやすい存在でありたいと思います。

😄 (偶然近くにおられた担当の利用者さんから)「親友!」との声😄

👁️ おお、すごいですね、親友って言ってもらえてますね。

👁️ …(照れる(〜♪))。

👁️ ご自身のキャラを活かしつつ、自然体で、無理せず頑張ろう!



[ふれあい会総選挙!]

2名が大差で正副会長選に勝利! ~ 4月2日(水)

昨年の11名立候補による大乱戦から、「6名」と比較的落ち着いた戦いとなった今年のふれあい会(入所利用者自治会)総選挙。「エアロビがんばる」「カラオケしたい」「旅行にいきたい」「ディズニーにいきたい」等様々な公約が出そろったところで1ヵ月に渡る選挙戦がスタート。

「投票の秘密」厳格化や、園庭での長時間の投票に伴う体調悪化防止等のため、今回は「完全期日前投票制度」により、選管担当職員が「個別聞取り」を行って投票していただきました。

開票日である4月のふれあい会では、大差で選出された新正副会長のご挨拶や、前年度正副会長への感謝状贈呈等を行

い、今年度の「ふれあい会」盛上げを期することとなりました。

[飯島 功士]

